

中央社会保険医療協議会 診療報酬基本問題小委員会（第2回）
議事次第

平成13年4月18日（水）
11時00分（目途）～12時00分
厚生労働省9階省議室

議題

- 1 診療報酬体系の見直しについて
- 2 その他

中央社会保険医療協議会 基本問題小委員会議事概要 (案)

1. 日時

平成13年3月14日(水) 10:50~12:05

2. 場所

厚生労働省9階省議室

3. 議題

- ・診療報酬体系に係る今後の検討事項について
- ・その他

4. 議事の概要

○はじめに、「試行診断群分類を活用した定額払いを伴わない形での診療内容等に関する調査対象医療機関」に関連する資料が提出された。これに関する主な質疑は次のとおり。

(1号側委員より)

- ・全ての医療機関で4月1日からデータ収集が開始できるのか疑問が残る。個別の病院の状況を具体的に把握していかないとデータ収集はうまくいかないのでは、全部をそろえることをしなくていいから、しっかりしたものをつくってほしい。それから、このデータを日本の医療全体の議論をする上でどう使っていくかということが問題となる。とりあえず54病院に絞ってやっていくのは結構だが、状況を見ながら病院数を増やすことが必要ではないか。また、私大協とか大学病院の関係についても、できる限りやるということで詰めてほしい。国立大学は試行をする気がないのか。

(事務局より回答)

- ・国立大学の中でもいろいろと動きはあるように聞いているが、体制や財源の問題など、いろいろと検討しなければならないということで、決してやるつもりがないということではないと理解している。引き続き協力していただける方法がないか文部科学省と話をさせていただく。

(2号側委員より)

- ・特定機能病院については、積極的にやるべきだと言っている。体制ができないというが、民間病院がこれだけ手を挙げている中で、人的要因が非常に多いはずの特定機能病院でできないというものではない。もっと強く要求をすべきだ。

(事務局より回答)

- ・特定機能病院に対する働きかけについても引き続き努力したいと思う。

○次に、診療報酬体系に係る今後の検討事項について事務局より説明をした。これに関する主な質疑は次のとおり。

(1号側委員より)

- ・ 老人医療制度の改革が最重点。あと、過去の実績や前回改定の評価に必要な資料がいつごろどんなものが出せるのか整理してほしい。また、分業は一体どうなっているのか。分業して国民にどの程度良いことがあったのか根本的なところを知りたい。それから、介護度という考え方があるように思うが、介護の認定制度や介護度の見直しのような作業は、いつごろどんな形で進むのか。

(2号側委員より)

- ・ 今の診療報酬体系は、様々な意味で違いのある医療機関が一つの体系の中で対応しなければならないものとなっている。その中で、それぞれ大きな問題点を抱えており、どの医療機関にとっても十分に対応できるような体系になっていない。このため、それぞれの機能あるいは規模等に応じた体系を考えていかなければいけないと考えている。機能分担については、医療提供体制の問題と絡んでくるが、診療報酬で体系的にとらえられないかという点はあると思う。高齢者医療の診療報酬については検討する必要があることを前々から言っている。前回幾つか対応したが、その評価も踏まえながらやっていきたい。また、末期医療の問題は、在宅でやれるものはやるという方向があるので、その辺の評価を検討する必要があるのではないか。
- ・ 昨年の四月からかかりつけ歯科医初診料が新設されたが、患者側から見た場合も、医療の側にとっても、いろいろな問題点を含んでいて、運用がうまくいかないという状況にある。その辺も調査してまた議論をいただきたい。高齢者医療に関しては、最近歯を残したいという意欲が非常に強く、残存歯もふえている。口腔内の疾患の状況は、十年、二十年前とはかなり変わってきているので、その辺の評価の見直しをもう一度やっていただきたい。
- ・ 分業に関しては、1号側委員の御指摘のとおり、国民にとってどのような良いことがあったのか大変気にしている。数値化するの難しいと思うが、できるだけ手元にあるデータで検証してみたいと思っている。そういうものも具体的な議論の中で示させていただきたいと思う。

(事務局より回答)

- ・ 今後の審議については、今までの議論を踏まえ、それを積み上げていくことも必要だが、それに加え、健康保険法、医療法等の改正や前回の診療報酬等の成果、これからの医療改革全体を見ながら、議論をお願いをしなければならないと考えている。今後の進め方については、夏ぐらいままでに各テーマに沿って議論いただき、秋以降それを踏まえ深めた議論をしていただく、そのようなスケジュールでどうかと思っている。高齢者医療が一番大きなテーマのように思うので、その辺から具体的な議論を始めていただければと考えている。

(1号側委員より)

- ・ データがないから議論しないというつもりはないが、データなしの議論は、なかなか難しいし、2号側と議論する場合も、共通のデータに基づいて議論をしていきたいというのが基本姿勢である。基本になる事実やデータはできるだけ早めに出してもらいたい。

(以上)